

Si-R G200 V02.04 変更内容一覧

□機能追加・改善

| No. | 項目 | 追加内容 |
|-----|-------------|---|
| 1 | データ通信モジュール | F-06CのソフトウェアバージョンVer.1.01に対応しました。 |
| 2 | Si-R実装機能の展開 | 以下のSi-R実装機能をSi-RGシリーズへ展開しました。 ・ブリッジグループ機能におけるMACアドレスフィルタ機能 |
| 3 | SR-S実装機能の展開 | 以下のSR-S実装機能をSi-RGシリーズへ展開しました。 ・ポート間アクセス制御機能 ・ARPエージング機能 |

□修正内容

| No. | 影響範囲 | 内容 |
|-----|---------------|--|
| 1 | V01.00～V02.03 | データ通信モジュールが使用不可状態となったときに、ifNumberのMIB値がinterfacesグループにてMIB取得できる実装インタフェース数より少ない値となることがある。 |
| 2 | V01.00～V02.03 | バックアップポート機能使用時、装置再起動してもバックポート側がstandby状態にならない場合がある。そのため、パケット転送のループが発生することがある。 |
| 3 | V01.00～V02.03 | DHCPリレーエージェント機能使用時にlan定義の動的定義変更を実施すると、以降リレー動作を行わなくなる場合がある。 |
| 4 | V01.00～V02.03 | VRRP機能使用時にVRRP動作モード設定をon/offする動的定義反映を通算47000回以上繰り返すと、装置がメモリ枯渇により再起動もしくはハングアップすることがある。 |